

授業科目(ナンバリング)	球技 C(CC214)			担当教員	坂元 康成		
展開方法	実技	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
フットサルを中心とした球技の技能向上を図るとともに、基本的な技術の構成要素や戦術に関する練習や指導法などを学び、指導者として求められる専門的知識とコーチングの実践力を身につける。また、さまざまな球技種目の特性やルール等を理解し、簡単なレフェリー（審判）ができるようになることを目標とする。							②⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら実践して正確なプレーを実演することができる。</li> <li>フットサルに必要な要素である基本動作、ボール・テクニック、グループ・スキル、チーム・スキルのほか、個人およびチーム戦術について理解し、説明及び指導することができる。</li> <li>フットサルを中心とした球技の競技規則（ルール）を説明できる。</li> </ul>				実技・技能 レポート	30% 10%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能における課題について構成要素をもとに分析することができる。</li> </ul>				実技・技能	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>シチュエーションに応じた適切なプレーを選択することができる。</li> <li>仲間への声かけ、アイコンタクト、ジェスチャー等を効果的に用いてコミュニケーションをとり、仲間と協働することができる。また、チーム内での役割を決め、仲間と協力・協調してプレーすることができる。</li> </ul>				実技・技能 受講態度	30% 20%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>本授業では、受講生間での相互指導（グループワーク）や受講生による指導実践や発表（レクチャー）を実施し、修得した知識及び技術を他者と共有することを学ぶ。授業内の活動の様子から実技・技能（評価比率 70%）を総合的に評価する。また、受講態度（評価比率 20%）は、授業内におけるチームでの取り組みに対する積極性や貢献度から評価する。なお、実技・技能ならびに受講態度の評価は、毎回の授業内にて総評あるいは個人へのアドバイスを実施し、学生にフィードバックする。</p> <p>レポート（評価比率 10%）は、指導実践に向けたプランニングなどの課題を課し、基本的な技術の構成要素や戦術に関するや指導法についての理解や専門的知識を習得できているかを評価する。採点（5段階評価）とともに内容について添削したものを返却する。</p>							
授業の概要							
<p>本授業は、自ら実践することにより、指導的立場として必要な理論について修得することをめざすものである。フットサルをする上で必要となる基本技術「見る、止める、蹴る、関わる」を練習し個人技術を高める。また、実戦で求められる戦術（個人、グループ、チーム）を、様々な練習を通して理解し、指導できることを目指す。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学習時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特になし 参考書：サッカー競技規則（購入する必要はありません） 指定図書：公益財団法人日本サッカー協会公認C級コーチサッカー指導教本（購入する必要はありません）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動のできる服装、運動靴、筆記用具を準備してください（専用のスパイクを準備する必要はありません）。</li> <li>欠席、遅刻、早退をしないでください。</li> <li>体調管理に留意し、けがや体調不良の場合は事前に連絡してください。</li> <li>フットサルの専門的知識（技術の名称及び構成要素、ポジション、戦術、競技規則など）を理解してください。</li> <li>基本は体育館で行い、内容によってグラウンドでの実技及び教室での講義になります。</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方や注意点について説明する。 フットサルの基本動作や「観る」ことの重要性等の理解を深める。	予習：シラバスを確認する。 (15分) 復習：指導者に必要なスキルについて調べる。(30分)
2	ウォームアップ&ストレッチ	ボールを用いたウォーミングアップやストレッチの理論と実践について学習する	復習：基本動作を確認・練習する。 (45分)
3	ボールフィーリング&ドリル	思い通りにボールを扱える正確な基本技術(テクニック)を修得する。	復習：基本動作を確認・練習する。 (45分)
4	パス&コントロール①	サッカーの基本技術の「受ける・運ぶ・飛ばす」を修得する。	復習：パス&コントロールについての構成要素を確認する(45分)
5	パス&コントロール②	動きの中で正確に基本技術を修得する。また、インパクトの技術練習を通して自分に合ったフォームを修得する。	復習：パスの基本技術の上達に向けて練習をする。(45分)
6	シュート	シュートの技術、多彩なパス(キック、ボレー、ヘディング)を修得する。	復習：シュートについての構成要素を確認する。(45分)
7	守備(オン・オフでの対応)	基本技術のひとつである「(ボールを)奪う」の技術を修得する。	予習：守備の原理原則について学習する。(45分)
8	攻撃(ポゼッション)サポート	相手にボールを奪われないようにしながら、ゴールを目指す技術を習得する。	復習：攻撃の原理原則について学習する。(45分)
9	スモールゲームを用いた基本戦術・基本スキルの獲得(1)	2対2や3対3のゲームを通してゲームの基本戦術を理解する。	復習：グループ戦術を確認し、実践できるよう練習する(45分)
10	スモールゲームを用いた基本戦術・基本スキルの獲得(2)	2対2+1や3対3+1のゲームを通してゲームの応用戦術を理解する。	復習：応用戦術を確認し、実践できるよう練習する(45分)
11	ゲームにおける戦術とフォーメーションの理論と実践(1)	5対5のゲーム(リーグ戦)を通し、攻守におけるチーム戦術やフォーメーションを理解する。	復習：チーム戦術を確認し、実践できるよう練習する(45分)
12	ゲームにおける戦術とフォーメーションの理論と実践(2)	5対5のゲーム(リーグ戦)を通し、攻守における高度なチーム戦術やフォーメーションを理解する。	復習：指導の方法を確認し、実践できるよう練習する(45分)
13	指導の実践①	これまで修得してきた指導技術を実践する。 ゲームコントロールの実施	復習：指導の方法を確認し、実践できるよう練習する(45分)
14	指導の実践②	これまで修得してきた指導技術を実践する。 指導実践の実施	復習：指導の方法を確認し、実践できるよう練習する(45分)
15	ゲーム評価	これまで修得した指導技術を実践し、リーグ戦を実施しながら評価を実施する。	予習：フットサルにおける審判の方法について調べる。(45分)